

令和6年度 藤沢工科高等学校 不祥事ゼロプログラムの検証等

○ 課題・目標別実施結果

課題	目標	実施結果と目標の達成状況
法令遵守意識の向上(公務外非行の防止、職員行動指針の周知・徹底を含む)	公務員、特に教職公務員としての行動を自覚する。	教育公務員としての倫理意識及び法令遵守意識の向上を図るため、毎月の職場全体研修のほか、臨時の任用職員や経験の浅い若手職員をはじめとした、職員への面談等を通じた指導を実施した結果、本校における公務外非行は生じなかった。
職場のハラスメント行為の防止	わいせつ・セクハラ・パワハラ行為を防止する。	他者の人権を尊重する意識の定着を図るとともに、働きやすい職場づくりに向け意識を高める働きかけを引き続き行ったが、課題となる案件もあったことから、目標達成に向け、関係する部署と連携し個別の面談や指導などの対応をきめ細かく行った。
児童・生徒に対するわいせつ・セクハラ行為の防止	生徒に対するわいせつ・セクハラ行為を防止する。	特にわいせつ行為の防止に向けては、所属職員全員を対象にした各種資料を活用した研修を引き続き実施した。また、携帯電話・SNSの誤った使用により生徒との不適切な関係が生じることの無いよう指導を徹底することで、職員全体の意識を高めることができた。
体罰、不適切な対応・指導の防止	生徒の人権を尊重し、体罰、不適切な対応・指導の発生を防止する。	体罰や不適切な指導について、全体に対して日頃から繰り返し指導を継続するのはもちろんのこと、個別面談を適宜実施するなど、教育公務員としての自覚とモラルの向上に努めた。
入学者選抜に係る事故防止	入学者選抜業務に係る事故不祥事の発生を未然に防止する。	各作業において問題の発生を未然に防ぐ仕組みをつくるとともに、事故防止に向けた全体研修を通して職員の意識を高める取り組みを行うことで、事故無く業務を完了できた。
成績処理及び進路関係書類の作成及び取扱いに係る事故防止	定期試験、成績処理、調査書等の文書作成での事故を未然に防止する。	成績処理及び進路関係書類作成にあたっては、職場全体が緊張感をもって業務にあたるよう意識の醸成に努めたが、「ヒヤリハット」事案が発生したことから、マニュアルや処理手順の改善を行い、適切に対応できる体制を構築した。
個人情報等の管理、情報セキュリティ対策(パスワードの設定、誤廃棄防止)	個人情報の流失や誤廃棄を未然に防止する。	生徒の一人一台端末の導入も進んだことから、運用環境の整備とデジタル情報の管理についての再確認を行った。また紙媒体の情報管理に対する対応としては、未返却の試験答案用紙の専用ロッカーによる一括保存など、誤廃棄防止に向けた文書管理の徹底を引き続き実践した。
交通事故防止、酒酔い・酒気帯び運転防止、交通法規の遵守	交通事故や酒酔い、酒気帯び運転を防止する。	交通法規を再確認し、安全運転への意識を高める各種の資料を活用した職場研修を実施することで、職員の高い意識を維持し、重大事故や違反の発生を未然に防止できた。

業務執行体制の確保等（情報共有、相互チェック体制、業務協力体制）	不適切な業務執行を防止する。	情報の共有や相互チェックについては、日頃からの呼びかけや事故防止研修会などを通じて意識を高めることで、職場全体で着実に実践できた。また政治的な中立性に関する意識もしっかりと定着しており、問題となる行動は引き続き発生していない。
会計事務等の適正執行	適正な私費徴収・執行を行う。	職員全体を対象にした会計全般に係わる説明、また会計担当者に対する私費会計基準に係る研修会を実施することで、適切な会計業務を行うための知識の着実な定着に努めた。また備品の現物照合については点検を確實に行うとともに、台帳との現物照合の徹底など、定められた手順に従い確實に作業を行った。

○ 令和6年度不祥事ゼロプログラム全体の達成状況と令和7年度に取り組むべき課題 (学校長意見)

不祥事防止に向け設定した目標の達成を目指し、職場全体への研修や各職員に対する個別指導の実施、またマニュアルや作業手順のブラッシュアップなどの改善を愚直に行うことで、令和6年度も本校における不祥事の発生を抑えることができた。しかし、いくつかの課題もあったことから、更なる改善に向けた取組の検討が必要と考える。

令和7年度は、これまで各業務において行われてきた内容を良く確認し、不祥事防止に向けより良い体制とするための検討を丁寧に進めるほか、ＩＣＴを利活用した指導の拡充に対応するため、デジタル情報の管理やＳＮＳの適正な運用について必要な対策の検討を進める。また他者を尊重する高い人権意識の醸成を引き続き推進し、教育環境・職場環境の向上に努める。